

PROJECT

アライバル

MIYAZAKI DESIGN

【支援者向け】 伴走支援プログラム 概要

「灯火の国、宮崎」から広げるデザイン経営

2025/09/01 (月)

デザイン力で会社の未来を照らす

自社ならではの強みを活かし、新しい商品やサービスを開発する。

県内外のお客様に事業の価値を拡げる。

地域や従業員から選ばれる会社を作る。

会社の軸を見直し、経営のあり方を刷新する。

そんな会社の未来をつくるための挑戦に踏み出そうとしている宮崎県内事業者が集まり、切磋琢磨し合いながら、
一歩を踏み出すためのPROJECT アラカシの第2期がスタートします。

PROJECTアラカシは、デザイン力を活用したお客様、地域、そして従業員から選ばれる会社づくりをサポートするプログラム。
同じ志を持つ仲間たちと切磋琢磨し、新しいアイデアを形にするワークショップや、経験豊富な企業家やデザイナーが1社1社の想いに寄り添いながらイノベーションやブランディングの課題解決をサポートする伴走支援プログラムを通して、会社の未来づくりをサポートします。

参加資格は、熱意。周囲を巻き込み、真剣に、本気で挑戦する。そんな熱意にあふれる10社を募集します。

一社一社の本気の挑戦が、会社の未来を、宮崎の未来を照らす力になります。

さあ、「灯火の国、宮崎」から、デザイン経営の輪を拡げていきましょう。

デザイン経営とは

社会課題の複雑化、新しい技術の登場、国内の市場や労働力の縮小、そして人々の価値観や行動の変容など、企業を取り巻く環境は大きく変化しています。

「デザイン経営」は、こうした変化の荒波を前向きに乗り越えるために、企業のブランド力やイノベーション力を向上させる経営手法です。

こんな課題に「デザイン経営」がおすすめ

- 従業員や求職者から共感を得られるような組織づくりに取り組みたい
- 事業の見直しや新たな領域にチャレンジするために組織力を強化したい
- 5年後、10年後を見据え持続的な成長を実現する取り組みを検討したい
- 変化の激しい社会の中で自社の在り方を再検討したい

より詳しくデザイン経営について知りたい人へ～デザイン経営に関する過去の関連資料



経済産業省・特許庁
『「デザイン経営」宣言』

<https://www.jpo.go.jp/resource/s/shingikai/kenkyukai/kyousou-design/document/index/01houk-okusho.pdf>



特許庁
「デザイン経営コンパス」

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/compass.html



特許庁
『中小企業のためのデザイン経営ハンドブック みんなのデザイン経営』

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/chusho.html



特許庁
『中小企業のためのデザイン経営ハンドブック2 未来をひらくデザイン経営×知財』

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei/chusho_2.html



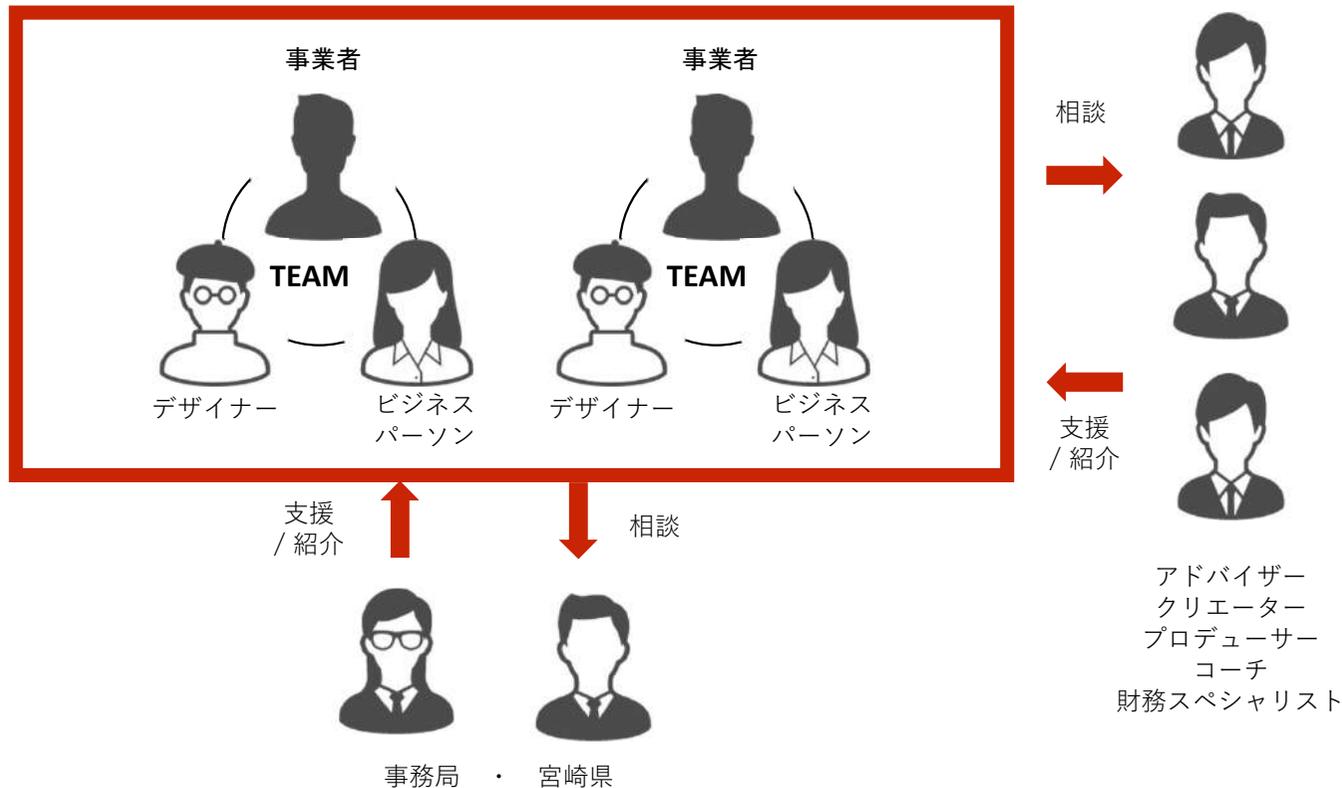
九州Design Case Studies
(デザイン経営事例集)

https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_case_studies.html



チームで進めるデザイン経営

宮崎県内に拠点を置く中小企業が、デザイナー、支援機関職員、ビジネスパーソンの支援を受け、実業家のアドバイスを通して、事業創出や組織活性化にチャレンジする



- デザイン経営を取り入れ、ブランド構築と人間中心での価値作りに挑戦
- 社外のプロボノの協力を得て仲間とともにチャレンジ
- 座学、ワークショップ・ハンズオンでの実践を通してトライアンドエラー高速回転
- 実務家のアドバイザーから支援を受け、質を上げる
- チーム横断のつながりを作り多様な知を入れる

事業を通して目指すこと

自社ならではの強みを活かし、新しい商品やサービスを開発する。
県内外のお客様に事業の価値を拡げる。
地域や従業員から選ばれる会社を作る。
会社の軸を見直し、経営のあり方を刷新する。

そんな会社の未来をつくるための挑戦に踏み出そうとしている宮崎県内事業者の皆さんとともに、
人格形成＝会社の根本を問い直し、商品・サービス・組織の文化を含む、会社の営み全体を更新する。

真剣に、本気で、切磋琢磨し合いながら、一步を踏み出すことで、
会社の未来を、宮崎の未来を照らす。

対象者

事業者



新規事業開発、商品開発、既存事業のリブランディングに取り組みたい企業
従業員や求職者から共感・支持を得られるような組織づくりに取り組みたい企業
事業の見直しや新たな領域にチャレンジするために組織力を強化したい企業

ビジネスパーソン



本業での経験やスキル、MBA、中小企業診断士などの資格を外部で実際に活かしたいビジネスパーソン

デザイナー



中小企業のブランドプロデュース・商品開発にチャレンジしたいデザイナー、プロデューサー、デザインを学ぶ学生や教職員

支援機関職員



商工会・商工会議所や地方公共団体、地域金融機関における中小企業の支援担当者

PROJECT アラカシとは

事業者



このままで未来はあるのか？
うちの商品は、本当はもっと
評価されるはずなんだ。
“選ばれる理由”を、きちんと
作らないと。

ビジネスパーソン



取得した資格を実践で活かす
機会が欲しい。
もっと地域に貢献できる仕事
がしてみたい。

デザイナー



受注の単価を上げたい。
単発の制作ではなく、経営や
戦略の上流から関わりたい。
イチからブランドづくりに携
わりたい。

支援機関職員



数字や資金面のアドバイスに
偏りがちで、差別化が難しい。
売上や利益を伸ばす支援に関
与したいが、方法が分からな
い。

参加される皆さんに求めること

事業者



とことん他者を巻き込んで、
真剣に、本気で、会社のらし
さに向き合い、事業づくりと
組織づくりに取り組む

ビジネスパーソン



自身のビジネススキルを活用
しながら、本プログラムを通
して、事業開発を上流から下
流まで前のめりに実践し、学
び、体得していく。

デザイナー



自身のデザインスキルを活用
しながら、本プログラムを通
して、事業開発を上流から下
流まで前のめりに実践し、学
び、体得していく。

支援機関職員



自身の支援スキルを活用しな
がら、本プログラムを通して、
事業開発を上流から下流まで
前のめりに実践し、学び、体
得していく。

これはNG

事業者



デザイナーさんが商品アイデア作ってくれるんでしょ♪
ビジネスパーソンが販売方法考えてくれるんでしょ♪

ビジネスパーソン



タスクの依頼・指示を待つ。
できることだけやる。

デザイナー



デザインワークの依頼・指示を待つ。
できることだけやる。

支援機関職員



タスクの依頼・指示を待つ。
できることだけやる。

PROJECT アラカシの全体像

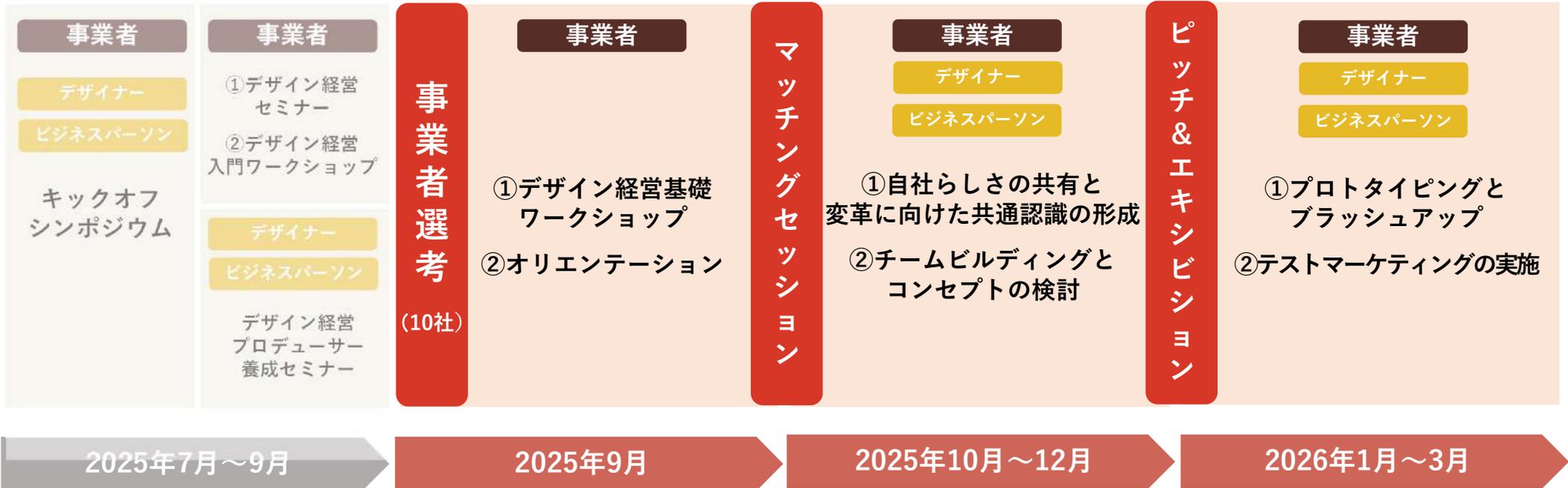
デザイン経営伴走支援プログラム

イベント

基礎ワークショップ

人格形成・文化醸成フェーズ

価値創造フェーズ



プログラムへの参加を検討される皆さんへ

PROJECT アラカシ
事業アドバイザー



村岡 浩司
株式会社一平ホールディングス
代表取締役

(センス) = (圧倒的な経験値) × (論理的な思考 + ひらめき・直感力)

これは、私が考えるセンスが良いと思える人（企業）の思考の方程式です。

企業にとって、過去に成長の原動力となった成功体験は、それ自体に囚われることでいつの間にかイノベーション力を削ぐ要因になっていることもあるし、経営者のひらめきだけに頼るのは（よほどの天才でない限り）危険なこと。つまり、センスとは、圧倒的な経験値をベースとしながらも、常に学びの姿勢を持って積み上げた論理的思考の上に検証を重ねたアイデア（ひらめき）に対して、圧倒的な信頼と自信を持って行動できる”チーム力”そのものではないかと思うわけです。

デザイン経営とは何か、と問われると、常に押し寄せてくる様々な経営判断に対して、自信を持って結果を出していくための「センスを磨く行為と実行」、そのものに思えてなりません。

時には（圧倒的な経験値）を持ったプロのデザイナーと組んで、美しい斬新なパッケージが生まれる。また、（論理的思考）をサポートしてもらうアドバイザー・伴走者にマーケティングの助言をもらうこともあります。しかし、いずれにせよ最後にはリーダー自身の判断が最も大切なことは疑いようもなく、自信を持ってチームがプロジェクトを推進できる状態であるためには、常に最良の「判断」を下していかなければならないのですから、そのための思考力を鍛える（学ぶ）ことは大切だと思うのです。

今回のMIYAZAKI DESIGN PROJECT「アラカシ」には、たくさんのヒントが詰まっています。同期生のつながりも、向上心を持って切磋琢磨できる仲間＝一生の財産になると信じています。

ぜひともに学び、宮崎から世界へ羽ばたくような、新しい価値を生み出していきましょう！

プログラムへの参加を検討される皆さんへ

PROJECT アラカシ
事業プロデューサー



澤田 哲也

ミテモ株式会社 代表取締役

私たちは今、大きな変化の時代にいます。

大量に生産され、消費されるものではなく、限られた資源を大切にできるものがある。本当に大事なものが身のまわりであって欲しい。できることなら未来の世代にとっても良い消費がしたい。パンデミックを経て、私たちの価値観はさらに大きく変わりました。

働き方に対する価値観も変化しています。人生100年時代、一社で勤め上げるのではなく、自分の価値観や強みを活かして同時に複数の会社で働くこともできるようになりました。お金のためだけに働くのではなく、自分も周りも幸せになれる会社で働きたいという思いが広がっています。

変化しているのは、価値観だけではありません。世界情勢の不安定さやインフレの影響は、地域の会社や働く人々にも及んでいます。この変化にどう対応していけばいいのでしょうか。

私たちはデザインの力がこの変化に立ち向かう助けになると信じています。特に宮崎のように自然、歴史、文化資源そして人の魅力に溢れる地域には、新しい意味的価値を生み出す大きな可能性があります。そしてデザインは、その可能性を花開かせるための力になります。

PROJECT アラカシは、デザインの力で皆さんの強みや想い、地域との文脈に躍動感を吹き込み、お客様、地域、従業員など関わる人々に愛され、選ばれる商品やサービスそして会社づくりを伴走支援するプロジェクト。ここでいうデザインとは、単に形あるものを美しくすることだけではなく、経営の軸を確かなものにし、商品・サービスや会社の意味を明確にし、共感の輪を広げる営み全体をデザインすることを目指します。

参加資格は、熱意。全国各地で蓄積されている知見やネットワークを宮崎の地に接続し、真剣に、本気で挑戦する県内事業者の皆さんとともに、会社の未来と宮崎の未来を照らす事業やプロジェクトを生み出していきたいと考えています。

前例も、正解もないPROJECT アラカシ 第2期。

だからこそ目いっぱい、一緒に挑戦しましょう！皆様のご応募をお待ちしています。



伴走支援プログラムの目指す姿

事業者と支援者がチームとなり、
プログラム終了後も自社らしさを磨き続け、
事業と組織を変革し続け、
顧客からも従業員からも選ばれる唯一無二の存在を目指す

STEP 3 デザインアクションの伴走支援（10月-3月）

デザインアクションの実施イメージ

新商品・新サービス開発、既存商品のブランディング、販路拡大に向けたツール開発、
インナーブランディング、地域ブランディング など

伴走支援例

（月次支援）

- 伴走支援コーディネーターによる進捗支援
- 進捗共有会の開催
- 参加企業同士による相互フィードバック など

（必要に応じて）

- 会社の軸ブラッシュアップ
- 数値目標のブラッシュアップ
- クラウドファンディング支援 など

デザイン支援例

各社のデザインアクションの実施内容に応じて、専門家を
マッチングし、デザイン支援を行います。

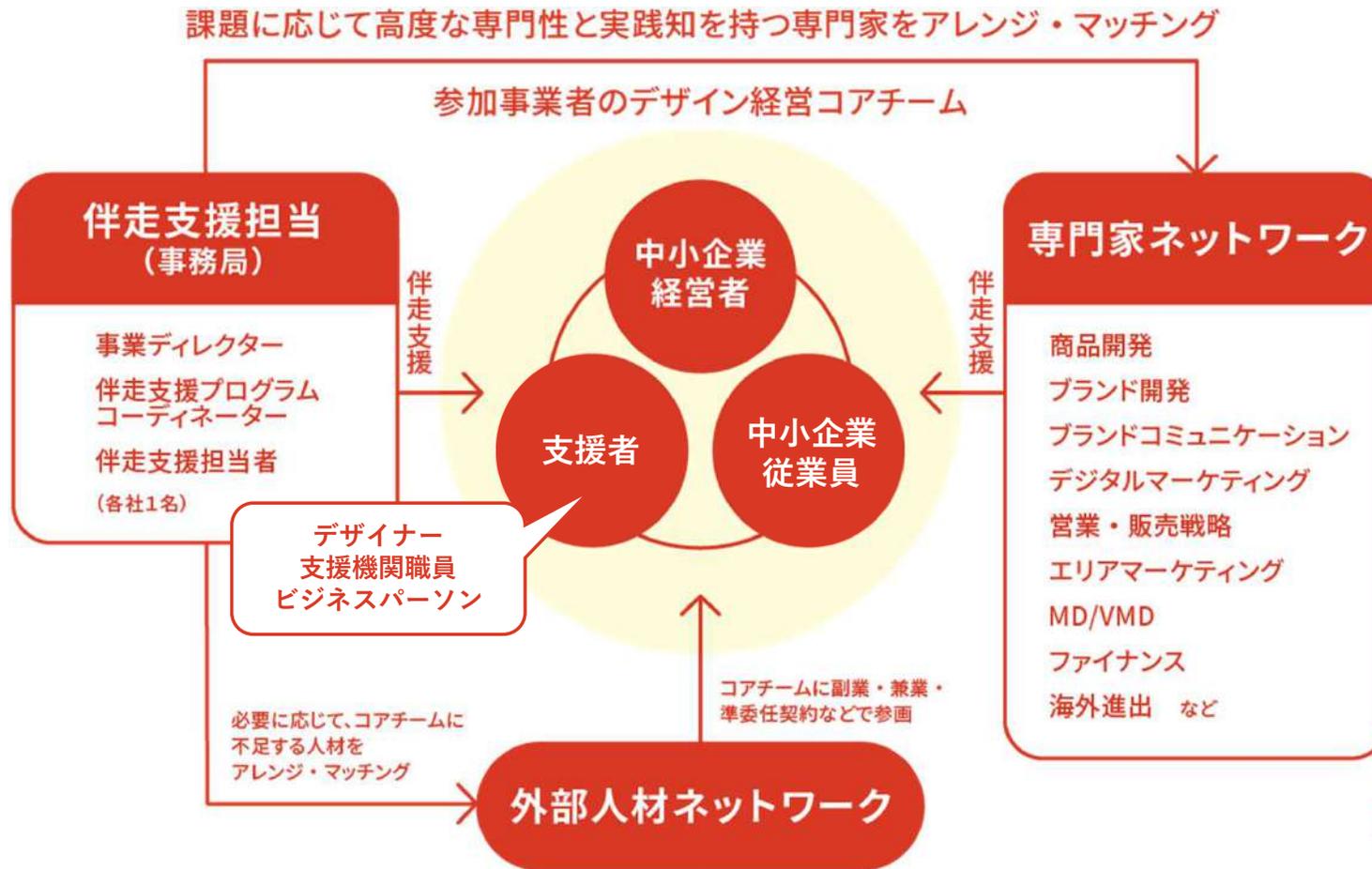
- コピーライティング
- プロダクトデザイン
- パッケージデザイン
- POP、販促資料開発支援
- 動画作成支援
- WEBデザイン など

▼昨年度参加事業者のデザインアクションの事例集（右記QRコードからもご覧いただけます）

https://www.mitemo.co.jp/wp-content/uploads/2025/07/arakashi_output.pdf



STEP 3 デザインアクションの伴走支援（10月-3月）



伴走支援プログラムの全体像

事業者募集（7月28日～8月25日）

事業者選考（9月上旬）

事業者向け基礎ワークショップ（9月）：自社らしさと経営課題を整理する

マッチングセッション（10月）：事業者と支援者とのマッチング

伴走支援・前半（11月 - 12月）：デザイン経営による経営目標づくりと体制づくり

ピッチ&エキシビジョン（12月）：バイヤー・メディアなどとの対話とフィードバック

伴走支援・後半（1月 - 3月）：価値創造とプロトタイピング

最終成果発表会：次年度以降に向けた宣言の場

事業者×支援者マッチングセッション（10月）

募集期間（7月28日～8月25日）

選考（9月上旬）

基礎ワークショップ（9月）

マッチングセッション（10月上旬）

伴走支援（前半）人格形成・文化醸成フェーズ（10月中旬～12月）

中間成果共有会（12月）

伴走支援（後半）価値創造フェーズ（1月～3月）

最終成果報告会（3月中旬）

伴走支援プログラムに参加する最大10社の事業者と支援者とのマッチングセッションを開催。その後の事業者の指名によりマッチングが成立したチームで翌年3月末までの伴走支援プログラムを駆け抜けます。

顧客に対してもう一步踏み込んだデザイン支援や経営支援に挑戦したいという方の参加をお待ちしています！

日時：10月10日（金）13:00～17:00（開場：12:40～）

会場：宮崎大学 錦本町ひなたキャンパス1階 コミュニティラウンジ

定員：10名程度

参加費：無料

【プログラム概要】

- 参加者によるプレゼンテーション（事業者・支援者各者2分ずつ）
- 事業者・支援者で仮チームを組んでのワークショップ
- 伴走支援プログラムの今後の流れについて案内

※マッチングセッション後、事務局にて参加事業者にヒアリングを行い、チーム組成を行います。

A. 初めての申込み



B. 2回目以降



イベント申込時に登録したID・パスワードでログインください

PROJECT
アライズ
MIYAZAKI DESIGN

伴走支援（前半）：人格形成・文化醸成フェーズ（10月中旬～12月）

募集期間（7月28日～8月25日）

選考（9月上旬）

基礎ワークショップ（9月）

マッチングセッション（10月上旬）

伴走支援（前半）人格形成・文化醸成フェーズ（10月中旬～12月）

中間成果共有会（12月）

伴走支援（後半）価値創造フェーズ（1月～3月）

最終成果報告会（3月中旬）

中小企業において新商品開発やブランディングに取り組もうとする際、多くの企業が直面するのが「経営者と従業員の意識差・温度差」。そこで、本伴走支援プログラムでは、前半フェーズにおいて社内の関係者を巻き込むことを重視し、次のようなアプローチを取ります。

自社らしさの共有と変革に向けた共通認識の形成

デザイン経営の中核となる「自社らしさ」について経営者と従業員と支援者が共に認識を深める機会を設定。新商品開発・ブランディングに取り組む意義や、目指す姿についての合意形成を図り、社内の温度差を解消します。

チームビルディングとコンセプト検討

上記の土台をもとに、社内でプロジェクトチームを形成。新商品または既存商品のリブランディングに向けたコンセプト設計を行います。この際、以下の問いを中心に議論を重ねます：

「私たちが提供したい商品・サービスの顧客は誰か？」

「その顧客が求めている価値は何か？」

「それに対して、私たちはどのような価値を提供できるのか？」

中間成果共有会（12月）

募集期間（7月28日～8月25日）

選考（9月上旬）

基礎ワークショップ（9月）

マッチングセッション（10月上旬）

伴走支援（前半）人格形成・文化醸成フェーズ（10月中旬～12月）

中間成果共有会（12月）

伴走支援（後半）価値創造フェーズ（1月～3月）

最終成果報告会（3月中旬）

プログラム参加事業者10社がデザイン経営の取り組みを通じて磨き上げてきた「自社らしさ」や「価値提案」を発信する中間成果の発表の場を「中間成果共有会」として開催。単なる中間報告の場ではなく、既存顧客・協力会社・バイヤー・メディア関係者など、今後のビジネスにおけるキーパーソンを招き、対話を通じて「これからの共創」を構想する場として開催します。

【開催概要】

開催日：2025年12月の平日 13:00～20:00

会場：MOC

想定来場者：支援者、バイヤー、デザイナー、メディア、地域プレイヤー、学生、一般市民等

想定参加者数：80名

形式：ブース展示、プレゼンテーション、バイヤー・メディア・協業候補先などとの対話ブース

伴走支援（後半）：価値創造フェーズ（1月～3月）

募集期間（7月28日～8月25日）

選考（9月上旬）

基礎ワークショップ（9月）

マッチングセッション（10月上旬）

伴走支援（前半）人格形成・文化醸成フェーズ（10月中旬～12月）

中間成果共有会（12月）

伴走支援（後半）価値創造フェーズ（1月～3月）

最終成果報告会（3月中旬）

後半フェーズでは、最終成果報告会での社会への発信と関係構築に繋げるため、プロトタイピングの実践など次のようなアプローチを取ります。

プロトタイピングとブラッシュアップ

前半で設計したコンセプトをもとに、商品開発・ブランディングの具体化に着手。仮説の磨き上げ、パッケージデザインの検討、プロトタイプ制作などを通じて、ブランド価値の実体化を図る。

テストマーケティングの実施

制作した試作品を用い、ターゲット市場における反応を確認するテストマーケティングを行う。仮説の検証と改善を繰り返し、実用レベルに高める。

資金調達支援

商品化・販路開拓にあたり資金が必要な事業者に対しては、クラウドファンディング等の資金調達手法の活用を支援する。

主な支援候補者プロフィール

PROJECT アラカシ
事業アドバイザー



村岡 浩司
株式会社一平ホールディングス
代表取締役

1970年、宮崎県生まれ。人口12,000人のまち、宮崎市高岡町で廃校となった小学校をリノベーションし、カフェやシェアオフィス・コワーキングを併設するMUKASA-HUBを運営。“世界があこがれる九州をつくる”を経営理念として、九州産の農業素材で作られた「九州パンケーキミックス」をはじめとする商品開発の他、カフェ・飲食店を国内外に展開。食を通じた地域活性化やコミュニティ創生にも取り組んでいる。

九州/沖縄の広域経済圏で繋がってものづくり産業を支援する、共創・共同体マーケティング「九州アイランドプロジェクト」の運営リーダー。その他、様々な地元創生活動や食を通じたコミュニティ活動にも取り組んでいる。

PROJECT アラカシ
事業プロデューサー



澤田 哲也
ミテモ株式会社 代表取締役

1981年、大阪府生まれ。採用コンサルティング会社、人材育成・組織コンサルティング会社を経て、2012年よりデザインと教育を組み合わせながら、企業と地域の課題を解決することを目指すミテモ株式会社 代表取締役。

日本各地の地域経済と社会を支える地域企業の育成型伴走支援をテーマに活動を展開。地域企業を対象としたデザイン経営、ブランド開発支援、新規事業開発、海外進出支援などに取り組む。

日本の工芸の価値を国内外に発信する作り手と支援者が学び合う民間スクールJAPAN BRAND PRODUCE SCHOOL、地域に根ざした作り手と使い手（生活者）の新たな関わりづくりを目指すオンラインクラフトマーケット Local Craft Market、インバウンドを対象としたクラフトツーリズム事業LOCAL CRAFT JAPANなど、工芸に関する複数プロデュース。デザインと教育の力で、工芸の高付加価値化と文化の継承に取り組む。

経済産業省・中小企業庁主催 令和元年度 中小企業向けデザイン経営導入支援事業「ふるさとデザインアカデミー」の教育ディレクター、名古屋市 中小企業向けデザイン経営導入支援事業「FUXION」事業プロデューサー、特許庁 令和5年度 中小企業のデザイン経営推進プロジェクト、名古屋市伝統産業海外マーケティング支援事業 Creation as DIALOGUEの事業プロデュース・ディレクションなど、実績多数。



事業者×支援者マッチングセッション 応募方法

■募集期間

2025年9月1日（月）～10月5日（月）

■応募方法

応募フォームより必要事項を記入

A. PROJECT アラカシのイベントに初めてお申し込みの方：

https://miyazaki-alaquash2025-lightning.leaf-hrm.jp/open_seminars

B. 2回目以降のお申し込みの方：

<https://miyazaki-alaquash2025-lightning.leaf-hrm.jp/>

■自己紹介スライド提出のお願い

お申し込み後、本イベントページ内の「格納資料」からスライドテンプレートをダウンロードして、自己紹介スライドを作成して10月5日(月)までに格納をお願いします。

※詳しい提出方法はスライドテンプレートの説明をご確認ください。

■問い合わせ先

事務局：ミテモ株式会社 PROJECTアラカシ運営事務局（中村・梅田・羽田野）

メール：cue@mitemo.co.jp

電話：03-4572-0407

主催：宮崎県企業振興課

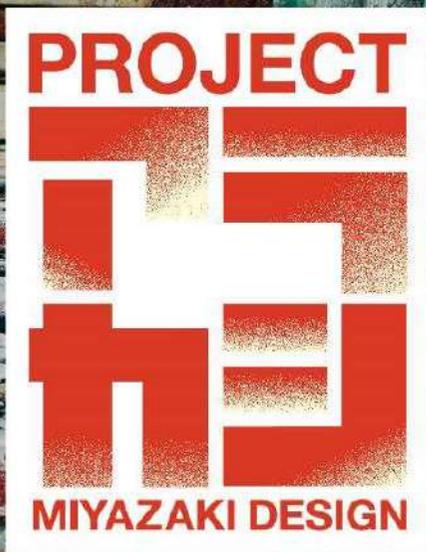
A. 初めての申込み



B. 2回目以降



イベント申込時に
登録したID・パス
ワードでログイン
ください



宮崎県主催

令和7年度 デザイン経営 推進事業

